個別ゼミ概要（WEB掲示用）

作成日：2024 年　　3 月　　8 日

授業科目名	如水会寄附講義「如水ゼミ」			
ゼミ名	**損害保険～目に見えない「インフラ」を「体感」する六日間～**			
講師幹事名	渡辺　憲厳		大学教員	全学共通教育センター長　南　裕子
学　期	R6 (2024) 年 (春夏) ・ 秋冬	**開講時間**	水曜　４～５時限	

＜過去の受講生の声＞

- 私が思っていたよりも多くのリスクがあり、解決策(特にリスクファイナンシング)について考えることが難しかったです。リスクについての考え方や損害保険会社の事業など知らないことが多かったので、知ることが出来てとても楽しかったです。
- 今回のリスクコンサルティングのワークのような思考力や想像力が問われる仕事は非常に面白く、またやりがいを感じました。
- グループワークが面白かったので積極的に参加することができてよかったです。リスクコンサルティングの考え方は、損害保険業界に限らず、また業界の第一線に限らずいろいろな場面で利用できる考え方だと思います。今回のゼミで実際にリスクコンサルティングを体験できただけでも参加した価値があったなと思える非常に有意義な時間でした。
- 海外進出における課題などを学ぶことができ、まさに自分が勉強している部分とも関わってきてとても興味深かったです。特に実務においてガバナンスや経営統合、M&A 後にどこまで統合するのかなどは理論などでは学ぶことができないところなので、とても勉強になりました。
- 日本企業全体の課題の把握や戦略の理解につながる知識が得られたと感じました。また、気になったことどんどん質問できる環境だったので、単なる講義にとどまらない深い理解が得られました。
- 座談会もとても良い経験になりました。インターンについてなど色々お聞きしたのですが、1 番印象的だったのは皆さん全員が楽しそうに自分の仕事や経験についてお話されていたことです。とても今の仕事にやりがいがあるのだということがわかりました。
- 保険のデジタル活用についてのお話の中で、様々な興味深い事例をご説明頂き、保険の多様性を知ることができたとともに、未来に向けての可能性が大いにあるというように感じられました。
- 海外駐在員の方のリアルなお話を聞くことができ、一口に保険会社で働くといってもその働き方には多様なものがあるのだと気づかされました。異なる価値観を持つ外国の社員とともに働くことには困難が伴うことが感じられましたが、同時に興味を惹かれました。
- 国際問題や気候変動など、様々な要因が直接的に利益に影響を及ぼす損害保険事業において、全体の指針を決定する経営チームの仕事の大変さが分かりました。